

ACKU例会 (NO167)、“岳友山荘” 蓼科山登山報告

昨年に続き、今年も、原田聰兄のセカンドハウスに、2泊お世話になり、蓼科山に登ってまいりました。全員70歳越えのロートルで、最も短時間で登れるはずの「7合目コース」でしたが、精一杯の行動でした。原田さん御夫妻のフルアテンド、特に手作りの食事と、お酒には堪能致しました。皆様も八ヶ岳連山の山登りは勿論の事、積雪期のスキー、夏の避暑、温泉めぐりと沢釣・ゴルフなど歓待していただけます。岳友山荘も原田さんの“手造り”が進み、着々と整備されております。山荘の周りの「コスモスの花」がGOODでした。喫煙家はテラスでしか楽しめませんがこれも時代でしょう。最後に「御夫妻」のお世話と我々を歓迎してくれた準盲導犬の“ピース”に感謝いたします。(高田和三記)

(1) 日程 2013年9月22日(日)～24日(火)

(2) 参加者(総勢5人)と行動

東京組；大谷車(前田精三、大谷誠治)

大阪組；高田車(高田和三、堺原直毅、川上哲郎) *堺原・川上両氏は高田の山友達

9月22日 岳友山荘入り、「懇親パーティイ」

9月23日 ガス後曇り、夢の平林道7合目コースにて、蓼科登山；徒歩7時間。

下山後、温泉入浴後、9時までドリンクパーティイ。

9月24日 其々帰宅、会費；2泊3日で8000円。

* 岳友山荘(原田邸)住所；〒391-0301 茅野市北山十文字292.

TEL；090-2358-7177 email；hed31201@hcc5.bai.ne.jp

* 尚、山行報告、写真は添付を御覧ください。



“蓼科山”山行 感想 (No 299, T-13) 大谷誠治

昨年は同じ時期に、蓼科山登頂が例会で催されたのですが、雨天の為、当日の朝中止となりました(ロープウェイを使い;北横岳に変更)。6ヶ月程、山歩きから遠ざかっていましたので、体調に多少不安がありましたが、久しぶりに例会山行に参加しました。

蓼科山麓の岳友山荘(原田聡宅)で快適な一夜を過ごし、翌日車で、蓼科山への「一番安易なルート」とされている、7合目の登山口へ向かい、歩き始めました。コースタイムの倍近くの時間を掛け、將軍平に辿り着くと、そこからは見上げるばかりの径が、蓼科山頂まで延々と続いているではありませんか。『何が安易なルートだ』と内心は忌々しく思いながら頂上を目指しました。

岩登りという程ではないにしても、いつも重宝しているストックが邪魔に成ってしかたがありませんでした。両手を使い、よじ登るようにして何とか登頂しました。期待していた眺望は雲に遮ぎられて、全く望めませんでした。一応登頂を果たしたと、自ら納得いたしました。

昼食後、さて問題の下りです。無理せず、マイペースでと、自分自身に何度も言い聞かせながら、何とか下山しました。足腰の衰えを否応なく感じさせられた下山路でした。

岳友山荘への帰りは、ショートカットを狙ったゆえ、車が側溝に脱輪いたしました(高田運転)。幸い通りがかりの青年達の手助けで、事なきを得ました。地元の方々の親切心に感謝した次第です。

オール70歳超の老人メンバーでしたが、温泉に浸かった後、昔にはなかった“語らい”が夜遅くまで続きました。雨に降られることもまく、まずまずの満足のゆく山行でした。

原田さん、奥様 有難うございました。

